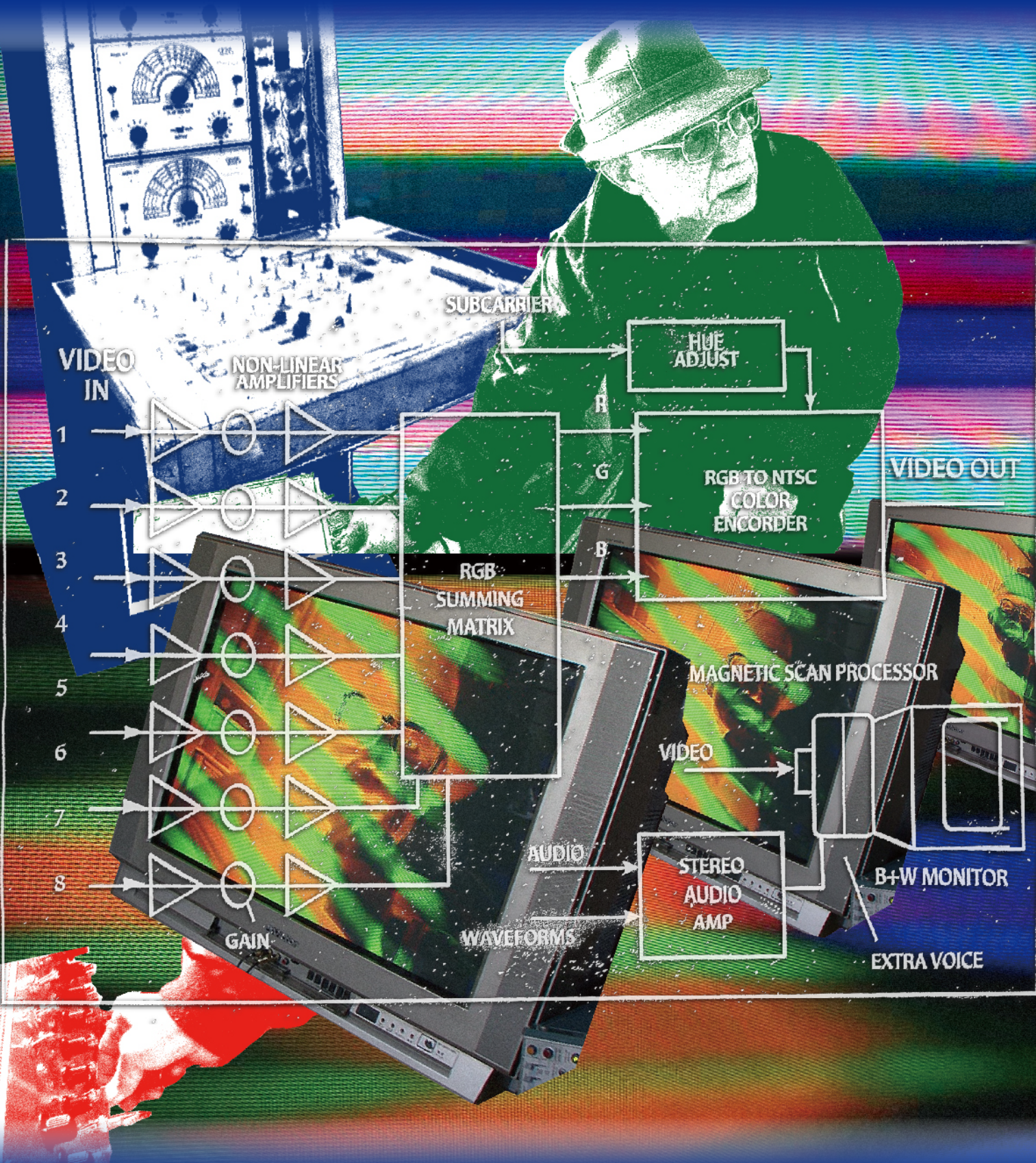


公開
講座

ナムジュン・パイクと電子の亡霊

ゴースト

阿部修也さんとパイク・アベ・シンセサイザーのタバ



日時：5月28日(火) 18:15 - 20:30 (17:30 開場、ビデオシンセサイザーの公開チューニング)

場所：早稲田大学大隈小講堂 (東京メトロ東西線・早稲田駅下車 徒歩5分 または
JR 高田馬場 都営バス早大正門行・早大正門下車 徒歩すぐ)

入場無料

主催：早稲田大学総合人文科学研究センター「イメージ文化史」部門

共催：早稲田大学文化構想学部表象・メディア論系、早稲田大学川口芸術学校

総合人文科学研究センター「イメージ文化史」部門では、メディア・テクノロジーと「亡霊」をめぐって、本年度数回のワークショップを開催する予定です。その第一回目にお迎えするのは、ナムジュン・パイクとのコラボレーションで知られる阿部修也さんです。

ナムジュン・パイクは電子時代の幻影を大衆に供給するテレビ、その幻影を作り出すビデオ信号に関心を持ち、自らが工夫した装置でそれらを変容させて多くの作品を作り、パフォーマンスを行いました。その中でも映像生成装置の歴史に名を残す〈パイク・アベ・シンセサイザー〉を共同開発したのが阿部修也さんです。ビデオシンセサイザー開発の経緯やパイクの人柄についてお話を伺いつつ、阿部さんが当時のままに復元したシンセサイザーを実演していただきます。さらに現代音楽とビデオシンセサイザーによるパフォーマンスも予定しています。

予定プログラム

17:30- 開場 〈パイク・アベ・シンセサイザー〉公開チューニング 阿部修也

18:15- 第一部 〈パイク・アベ・シンセサイザー〉を語る

「心霊写真 WS/レクチャーシリーズについて」橋本一径

「ゴーストの系譜：ファンタスマゴリアからヴァーチャルリアリティまで」草原真知子

「ナムジュン・パイクとビデオアートの身体性」齋藤理恵

「ナムジュン・パイクについて」阿部修也（聞き手：瀧健太郎、草原真知子）

19:30- 第二部：〈パイク・アベ・シンセサイザー〉実演

パイク・アベ・シンセサイザー デモンストレーション 阿部修也

パイク・アベ・シンセサイザーと現代音楽によるパフォーマンス

阿部修也+瀧健太郎（ビデオシンセサイザー）、寒川晶子（ピアノ）：ジョン・ケージ作曲「ある風景の中で」ほか
Q & A（終了後に講師を含めた懇親会を予定しております。）

講師：阿部修也（アーティスト/エンジニア）

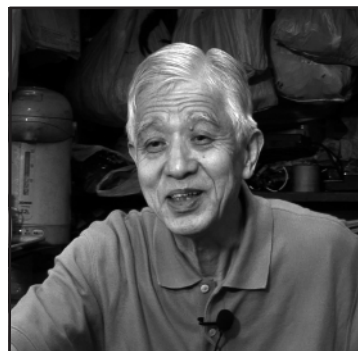
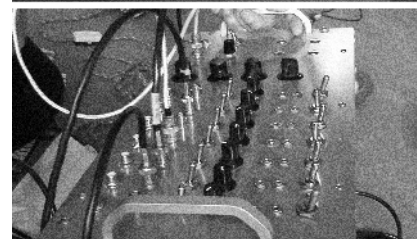
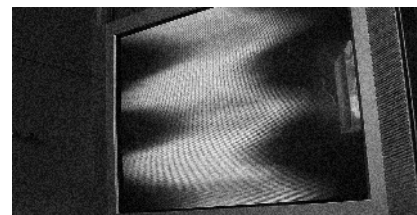
司会：草原真知子（早稲田大学文学学術院教授）

登壇者：橋本一径（早稲田大学文学学術院准教授）

瀧健太郎（映像作家・早稲田大学川口芸術学校専任講師）

寒川晶子（ピアニスト）

齋藤理恵（早稲田大学大学院文学研究科博士課程）



講師略歴： 阿部修也 Shuya ABE

1932年宮城県生まれ。アーティスト/エンジニア。東北大学理学部物理学科、同大学工学部通信工学科を卒業後、東京放送TV技術部に入社。トランジスタの発明などで知られる内田秀男に1963年、秋葉原の喫茶店にて、ナムジュン・パイクに紹介される。以降パイク作品の《ロボットK-456》や〈パイク・アベ・ビデオ・シンセサイザー〉の技術的な支援をする。CalArts (California Institute of the Arts) や武蔵野美術大学の講師を経て、パイク亡き後の近年も初期のビデオ作品のメンテナンスを行っている。

●会場までのアクセス：

東京メトロ東西線・早稲田駅下車、徒歩5分または
JR高田馬場 都営バス早大正門行・早大正門下車、徒歩すぐ

大隈小講堂は大隈講堂（時計台のある建物）の地下1階にございます。

●お問合せ：

早稲田大学文化構想学部 表象・メディア論系 研究室
e-mail: contact@hyosho-media.com

<http://www.hyosho-media.com/>

